

2021 よりよい保育者養成を目指して-常葉大学と園・施設との協議会-

ご挨拶

常葉大学・常葉大学短期大学部 学長 江藤秀一

日頃から常葉大学保育学部並びに常葉大学短期大学部保育科の教育研究に対し、多大なるご支援を賜りましてまことにありがとうございます。

本学並びに本学短期大学部の保育士及び幼稚園教諭養成課程は、1966年の常葉女子短期大学(現常葉大学短期大学部)の開設とともに始まり、2006年には富士常葉大学における保育学部設置によって強化され、これまでに保育学部並びに短期大学部保育科合わせて1万3千人余りの卒業生を送り出してまいりました。2018年、草薙キャンパス開設にともない、保育学部と短大部保育科が同じキャンパスにて教育研究活動を行うこととなり、これを機に、これまで培ってきた幼児教育養成の力を結集すべく「幼児教育支援センター」を設置し、現代社会が求める「子どもと家庭を支える専門職者」の養成に努めております。

「幼児教育支援センター」では、この人材養成の目的を果たすために、幼稚園教諭免許状や保育士資格を取得するための実習支援や資格取得の諸手続きの支援も行っております。実習に関しましては、保育学部及び保育科ともに、年間で延べ400を超える保育所・幼稚園・こども園・施設で実習生を受け入れていただいております。ご支援、ご協力いただいております関係各所に改めてお礼申し上げます。

この度の「2021 よりよい保育者養成を目指して-常葉大学と園・施設との協議会」においては、実習指導を中心とした本学保育関係の教職員と実習受け入れ先の皆様方との情報共有をはじめ、ズームによる大学と園・施設の関係者による意見交換会も予定されております。現下の新型コロナ禍のなかで、対面での開催はかないませんが、オンラインを使つての今回の協議会は、今後の新たな教育法の開発へつながっていくことが期待されます。以上、本協議会がこれからの幼児教育のさらなる発展につながることを祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。(令和3年6月)



より高きをめざして～Learning for Life～
常葉大学/常葉大学短期大学部

常葉大学草薙キャンパスからの富士山